

# 地域共生社会実現のための 人材育成研修@行田市

2022年 3月 9日 (水)

15:00 開始予定です。

\*Zoom会議中に表示される自分の名前を「氏名(所属)」に変更してお待ちください。

(例:「山田花子(〇〇相談センター)」)

1台のデバイスで複数人が参加する場合は、

部署・事業所名のみ記載で構いません。

- 15:00 開始あいさつ・本日の流れと目的説明
- 15:05 アイスブレイク
- 15:10 グループディスカッション①  
「行田市の相談支援の現状」
- 15:50 休憩
- 16:00 グループディスカッション②  
「地域資源の共有・発見」
- 16:50 事務連絡・アンケート回答
- 17:00 終了

## ◆ 事例検討ワークの実施

**事例**

ある日、相談窓口に、次のような相談がありました。

認知症の初期症状

認知症の初期症状

精神疾患

ネグレクト 失業中

発達障害

認知症の初期症状がある80代夫婦。  
息子はひとり親・失業中の精神疾患を患った男性。  
孫は発達障害の不登校。  
息子は孫に対してネグレクト状態で、祖父母がずっと孫の世話をしていたが、認知症によりそれが難しくなってきた。

### 【ポイント】

- ★他の分野・専門性の方の視点や行動を知る。
- ★相談者にとっても、支援者にとっても、安心できる環境・対応について考える。

## ◆ 連携の成功ケース共有

地域共生社会の実現に向けた人材育成研修@行田市 事前ワークシート（第1回・第2回共通で使用します。）

複雑化・複合化している住居の問題を、相談者ひとりで抱えこまず、他機関・多職種と連携して解決に向けて方策を考えるチームづくりが今後ますます必要となります。今までのケースをふり返って、連携の成功要因や課題を検討し、行田市において求められる相談支援のあり方を考えるとともに、お互いの業務内容や取り組みを知り合っており、地域資源の柔軟な活用アイデアを膨らませてみましょう！

ご所属： \_\_\_\_\_ ご氏名： \_\_\_\_\_

【事業所・部署での取り組みの紹介】（参加支援・地域づくりに関する取り組みなど）

(A) 連携して対応に成功したケース。「つながっていてよかったケース」

(B) 連携が難しかった/開知したが、解決に結びつかなかったケース。

(a) 上記ケースにおける連携の成功要因は何だったのでしょうか？

(b) 連携したかった機関は？

(c) あったからよかった社会資源は？

(A) 「連携して対応に成功したケース」

(a) 「連携の成功要因」

から、

行田市の支援体制の強みを確認。

# 本日のテーマ

## 「行田市の相談支援の現状」

### 「地域資源の共有・発見」

複雑化・複合化している住民の課題を、相談者ひとりで抱えこまず、  
他機関・多職種と連携して解決に向けて方策を考えるチームづくりが今後ますます

必要となってきます。

今までのケースをふり返って、連携の成功要因や課題を検討し、  
行田市において求められる相談支援のあり方を考えるとともに、

お互いの業務内容を知りあって

地域資源の柔軟な活用のアイデアを膨らませてみましょう！

● **加藤 恵氏**（愛知県半田市）

社会福祉法人半田市社会福祉協議会

半田市障がい者相談支援センター長

● **猿渡 新平氏**（福岡県大牟田市）

医療法人静光園白川病院 医療連携室長

● **大原 裕介氏**（北海道当別町）

社会福祉法人ゆうゆう理事長

# アイスブレイク

①名前・所属 ②最近の仕事状況 ③今の気持ち

一人1分程度でお話してください！

\*グループ内で、グループワーク時の進行役、タイムキーパー、発表者（重複可）もあわせて決めてください。

(B) 連携が難しかった／

関知したが、解決に結びつかなかったケース。

(b) 連携したかった機関は？

(c) あったらよかった社会資源は？

# 地域共生社会の実現に向けた人材育成研修 第2回 (2022年2月10日) 「地域資源の共有ワークショップ」 事前ワークシート

複雑化・複合化している住民の課題を、相談者ひとりで抱えこまず、他機関・多職種と連携して解決に向けて方策を考えるチームづくりが今後ますます必要となってきました。今までのケースをふり返って、連携の成功要因や課題を検討し、草加市において求められる相談支援のあり方を考えとともに、お互いの業務内容を知りあって地域資源の柔軟な活用アイデアを膨らませてみましょう！

ご所属：

ご氏名：

【事業所・自部署での取り組みの紹介】（参加支援・地域づくりに関する取り組みなど）

(A) 連携して対応に成功したケース。「つながってよかったケース」

(a) 上記ケースにおける連携の成功要因は何だったのでしょうか？

(B) 連携が難しかった／関知したが、解決に結びつかなかったケース。

(b) 連携したかった機関は？

(c) あつたらよかった社会資源は？



# グループディスカッション①の進め方

**1. (B),(b),(c)を一人2分でグループ内で共有しててください。**

## ※1の留意事項

(B) 連携が難しかった／関知したが、解決に結びつかなかったケース

**①ケース対象者の属性、②対象者の生活上での困りごと、③相談を受けた際の課題**

上記①～③を端的に伝えてください。

(b) 連携したかった機関は？(c) あったらよかった社会資源は？

(B)を踏まえて(b),(c)を伝えてください。

**2. グループメンバーの共有を聞き、各ケース(c)についてディスカッションを行ってください。**

**(1～2合わせて20分程度)**

**【全体共有・ディスカッション】**

**グループ内で (B) (b) (c) について、共有された事例のうち、印象的な事例を**

**1 事例発表してください！**

**1 チーム3分程度でお話しくください。**

休憩

1. ワークシートの  
「事業所・自部署での取り組みの紹介（参加支援・  
地域づくりに関する取り組みなど）」

について、  
グループで共有、意見交換  
(10分程度)

# 地域共生社会の実現に向けた人材育成研修 第2回 (2022年2月10日) 「地域資源の共有ワークショップ」 事前ワークシート

複雑化・複合化している住民の課題を、相談者ひとりで抱えこまず、他機関・多職種と連携して解決に向けて方策を考えるチームづくりが今後ますます必要となってきました。今までのケースをふり返って、連携の成功要因や課題を検討し、草加市において求められる相談支援のあり方を考えとともに、お互いの業務内容を知りあって地域資源の柔軟な活用 아이디어を膨らませてみましょう！

ズエタ

ズエタ

## 【事業所・自部署での取り組みの紹介】 (参加支援・地域づくりに関する取り組みなど)

(A) 連携して対応に成功したケース。「つながっていてよかったケース」

(B) 連携が難しかった／関知したが、解決に結びつかなかったケース。

(a) 上記ケースにおける連携の成功要因は何だったのでしょうか？

(b) 連携したかった機関は？

(c) あつたらよかった社会資源は？

## 2.

分野を超えた資源の柔軟な活用について、

全体ディスカッション（25分）

→前半に共有いただいた、「連携が難しかったケース」を  
ベースに、活用できる資源やアイデアの意見出しをしてい  
きましょう！

**【アドバイザーコメント】**

**(10分)**

本日はありがとうございます！

アンケートへのご協力をお願いいたします。

事前課題シート提出のお願い

研修終了後、各自の事前課題シートをメールにて提出をお願いいたします。